

出前移動展のお知らせ！

「松浦武四郎が見た根室管内と北方領土の様子」

今年は、北海道と命名されて150年。北海道の名付け親と言われる幕末の探検家松浦武四郎の生誕200年の年でもあります。武四郎が見た幕末の根室管内と北方領土は、どのような様子だったのでしょうか？

本移動展は、9月に図書館で実施したもので、沢山の方にご覧いただきとう町内の公民館で開催するものです。ぜひ、ご覧ください。



●東公民館 期間：11月26日（月）～12月10日（月）午前中まで

●中央公民館 期間：12月17日（月）午後～12月28日（金）午前中まで

※西公民館は、1月を予定しております。

「初冬の野鳥観察会 ユキホオジロ・コクガンを観察しよう」を実施しました。

11月24日（土）、野付半島にて講師に中春別中学校校長藤井薫氏を迎え初冬の野鳥観察会を実施しました。参加者は10名です。

野付半島ネイチャーセンターで、この時期見られる渡り鳥、コクガン・ユキホオジロのお話をいただきました。その後、野付半島先端に車で移動し、最終番屋から徒歩で先端部を目指しました。先端に到着すると20羽程のユキホオジロの群れが飛び交い、その様子を観察しながら、夕暮れを待ちました。日暮れと同時に野付半島の湾内からコクガンの雁行が一斉にはじまりました。数千羽のコクガンがねぐらへ向かう様子は、圧巻でした。風もなく天候も良かったこともあり、お目当ての鳥を十分に観察出来、参加者を大いに喜ばせました。

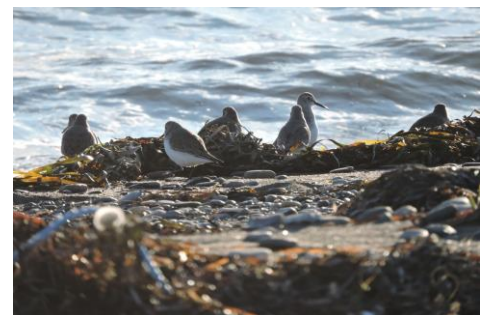
●観察出来た野鳥

コクガン・ユキホオジロ・オオワシ・オジロワシ・オオハクチョウ・ハマシギ

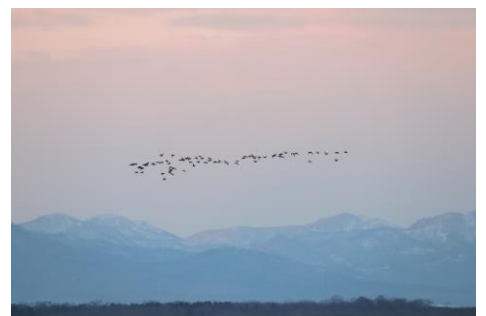
●参加者の感想

・コクガンの新しい話を聞いて良かったし、群れの大群を見る事が出来良かった。

・昨年より沢山のコクガンが見られました。それも大群でした。写真も沢山撮れました。大変良かったです。



ハマシギ



コクガンがねぐらに入る様子

「昔のくらしと道具」を調べる授業に郷土資料館が利用されています。

11月は、上春別小学校3年生が来館されました。

小学校3年生の社会科には、「昔のくらしと昔の道具」という単元があり、町内のほとんどの学校が当館を利用してくれます。当館では、道具を見学するだけでなく、実際に道具を使う体験も行っています。体験する道具は、「炭火アイロン」「火のし」「洗濯板」「湯たんぽ」「灯油ランプ」「せんべい焼き」で、使い慣れない道具に悪戦苦闘しながら、昔の生活の様子を少しでも感じてもらうと考えました。なかでも、重たいせんべい焼き器で、焼くせんべいは、おいしいと評判です。

11月13日（火）上春別小学校3年生10名が来館されました。沢山の道具などを見学し、昔の道具を体験していただきました。



せんべい焼き



アイロン体験



湯たんぽ体験

昔の道具は、貸出も行っております。使い方や説明が必要な場合は、出前講座とあわせてご利用いただくことができますので、内容は、ホームページからご確認ください。

郷土資料館 HP : <https://betsukai.jp/kyoiku/kyoudo/event/demaekouza/>



冬の遊び～小澤彦三資料から

この写真は、昭和11年（1936）1月に撮影されたものです。姉妹（5才・3才）がそりを引き遊んでいる様子です。昔と今では、遊びがすっかり変わってしまい。沢山の子どもたちが冬に外で遊んでいる姿は目にしないとと思います。

別海町郷土資料館だより No.233

発行日 平成30年12月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

コクガンの雁行、昨年に引き続き2回目ですが、とにかく圧倒的でスケールが違います。ここでしか見れないでしょう。子どもたち、遊びは変わっても色々なことに興味関心があるようです。昔の道具体験も楽しかったようです。今年も残り1ヶ月ですね。(K.I)